

# 施設毎の指定管理料の見直し状況

(単位：千円)

施設名	指定管理者	指定管理料		
		現計予算額 (A)	9月補正額 (B)	補正後 (A+B)
柿崎マリンホテルハマナス	柿崎総合開発(株)	6,529	8,210	14,739
大潟鵜の浜人魚館	(株)大潟地域活性化センター	38,500	1,907	40,407
吉川スカイトピア遊ランド	(株)みなもとの郷	2,367	2,767	5,134
板倉保養センター	黒倉ふるさと振興(株)	8,096	6,831	14,927
合計		55,492	19,715	75,207

# 上越市、4施設の指定管理料を再算定、増額へ

上越市はこのほど市内の公の施設の指定管理料の見直しを行い、関連経費を盛り込んだ一般会計補正予算を9月議会に提出しました。

現在、市の指定管理施設は85施設。

昨年からの新型コロナウイルスの影響で減収を余儀なくされた施設については「減収補てん」を行ってきました。が、「指定管理料による運営が困難な場合は、利用実態や収支構造を踏まえ、施設機能やサービスの改善を図り、指定管理料を見直す(再算定)」ことになりました。

今回の補正予算では、指定管理者の資金繰りが特に悪化し、運営が困難となっている柿崎マリンホテルハマナス、大潟健康スポーツプラザ鵜の浜人魚館、吉川スカイトピア遊ランド、板倉保養センターの4施設について、4月から9月までの収支見込み額を踏まえ、総額1971万円をこれまでの指定管理料に



上乗せする内容となっています。

他の指定管理施設についても、引き続き、経営状況等を把握し、施設を継続的に運営する上で必要と判断した場合は、指定管理料を見直すこととしています。



【フウセンカズラ】ムクロジ科の植物の一種。漢字で「風船葛」と書きます。花期は7月～9月で、小さくて白い花を咲かせます。花は5センチ程度の大きさですから目立ちませんが、果実は風船状に大きく膨らみます。花言葉は「永遠にあなたとともに」「多忙」。写真は8月31日、撮影。

## 市長選の基本政策などで日本共産党議員団が記者会見

日本共産党上越地区委員会、日本共産党議員団は8月24日、共同で記者会見を行いました。会見の目的は、市長選についての基本政策とその対応、そして市議補選の候補者発表でした。

市長選基本政策については平良木市議がその概要を紹介するとともに、現在立候補表明している人と政策について意見交換し、支持するかどうかを決めていくことを明らかにしました。その際、ポイントとなることは、①新型コロナウイルス対策を思い切っって強化するかどうか、②厚労省や新潟県等が進めようとしている病院改革にどう対応するか、③行政主導ではなく、市民の声をキチンと聞いた本場の行政改革を進め



市議補選については、いわさわ健(岩澤たけし)地区委員会暮らし・子育て相談室長を擁立することを発表しました。いわさわ健氏は50歳。本町在住。飲食店を経営し、現在、上越民主商工会会長です。記者会見で同氏は「新型コロナウイルス対策に全力を上げ、市民のいのちと暮らしを守っていく」とのべていました。(写真は岩澤氏)

どうか、そして、④国や県に上越市を代表して堂々とものがいえるかどうかだと説明しました。基本政策については私のホームページでご覧いただけます。

# はしづめ法一の活動レポート

**No.2026 2021.9.5**  
 発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず  
 Tel 025-548-3628  
 通じないときは 090-5392-1961  
 E-mail hasiznyg\_0808@yahoo.co.jp  
 URL <http://www.hose1.jp/>

ブログ「ホーセの見えある記」はこちら

橋爪法一 検索



# 春よ来い

## 第六七三回

### おまさん、若いねえ

「こー、二年、人と接する母の姿を見ていて感心するのは言葉づかいです。わが家でも外でも、世話になれば、「ありがとう」とお礼を言い、人に会えば、「おまさん、きれいだね」「若いねえ」などとほめるのです。

八月二日の午前のことです。母は私の軽自動車に乗って、生まれ故郷である大島区旭地区へ一年二か月ぶりに行ってきた。目的は、幼友達である板山在住のキエさんと会い、母の実家など親戚の家を訪ねることでした。キエさんには事前に伝えましたが、母の実家や従兄の家には事前連絡なしの突然の訪問でした。

この日、大島区へはわが家から吉川区の山間部を通るルートで行きました。名木山の坂を下って石谷に向かう時、母は「ここはクルマ、いっぱいあるなあ」と言いました。そして上川谷から角間へ行く途中では、「ここらへんにサワナあったがねかな」。数年前までクルマ拾いや野菜採りに夢中になっていた母の目には、そういうものがずっと飛び込んでくるのでしょね。

旭地区に入って最初に訪ねたのはキエさんの家でした。前庭に停めた私の車のドアを開けたキエさんは、「まあ、おばあちゃん、会えると思わなかったじゃ」と言っていて、喜んでくれました。母はすぐに「おまさん、若いねえ。顔の色つやがいい」と言ってほめました。キエさんはこの言葉に反応し、「だって、オシは義孝さんと一緒だもん、九二だよ」と言いました。

キエさんは今回、エゴとヨーグルトを用意して待っていてくれました。自力で歩けない母は、車の中ですぐにエゴを食べ始めました。「まあ、うんめーがどー」と何度も言いました。私からも「今年のエゴには芯がねがね」と言いつつ、キエさんは、「そいがでね。今年のエゴはエゴを嫌いなしょも食べられるほど美味しいがど。アキ

コさんの親戚筋の人の紹介で、上越の魚屋さんから買うがでも、この人は自分で海に入って採るが」と言いました。

この日、キエさんから皿に入れてもらったエゴは縦横三・五センチくらいのもので、母は皿の中の三切れのエゴを残らず食べ、汁まで飲むとうとしました。それほど美味かったのでしょうか。

母はエゴを食べ終わると、今度は「ヨーグルトを食べて」と言われました。「牧場の朝」という名前のヨーグルトですが、これもスプーンで残らず食べました。「ああ、うんめーかっ」という母の言葉にキエさんは笑顔いっぱいでした。

キエさんの家には一五分くらいお世話になったでしょうか。その後、板山の親戚、竹平の親戚と回りました。

最初に会ったのは母の一番上の姉の長男、セイゴさんです。母とは数十年ぶりに再会したとかで、「おまんちに柿もらい行って以来じゃないかな」と言っていました。ここでも母は、「おまさん、若いねえ」と言いました。セイゴさんは「若いねえ」と言いました。もう八二だよ」と言っていて、ずっと笑っていました。

その後、母の実家である「のうの」(屋号)、「足谷」(屋号)にも行きました。突然の訪問にかかわらず、どちらの家でも従兄の連れ合いや従兄などと会うことができ、「ばあちゃん、元気だねや」と大歓迎されました。最初、訪ねた時は留守で今回は会えないと諦めていた板山の従弟夫婦とも帰り道、田んぼ仕事をしているところを見かけたので、声をかけました。

訪ねた家のどこでも母は、「おまさん、若いねえ」「いい顔してなるね」「おまさんきれいだね」とほめ、しっかり手を握ってもらいました。この日は、母にとつて最良の日となりましたが、いったい、いつからこんなにほめ上手になったのでしょうか。

## サツマイモの茎を食べて

サツマイモの茎を食べたことがありますか。先日、大島区菖蒲地区で走ってなりました。もちろん、ゆでて、いためてありました。

私は、子ども時代にそれぞれ毎日のように食べた記憶があります。食料不足のときには大活躍した食べ物です。



## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月25日(水)	9月1日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.057
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.053	0.047
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

### 今年も夫婦で作品展…清里の敬西寺

お盆の15日は終戦記念日でした。清里区東戸野にある敬西寺での切手画展・水彩画展を観てきました。私が同展を観に出かけたのは今回で、3回目かと思えます。今回も手の込んだ作品に圧倒されました。



切手画は住職、水彩画は坊守さんの作品ですが、お二人がそれぞれの作品の案内をしてくださいました。

切手絵は使用済みのものを使って、いろいろな色を絵に使うのですが、なかには400円切手もありました。集めるだけでもたいへんです。住職によると、冬が長いと多くの作品づくりができるのか。今回は雪掘りと蛇の目傘の絵に注目しました。坊守さんの水彩画のなかで私が惹かれたのは冬景色です。昨冬の豪雪のことを忘れてしまいそうになる素敵な作品でした。



# 春よ来い

## 第六七三回

### おまさん、若いねえ

「こー、二年、人と接する母の姿を見ていて感心するのは言葉づかいです。わが家でも外でも、世話になれば、「ありがとう」とお礼を言い、人に会えば、「おまさん、きれいだね」「若いねえ」などとほめるのです。

八月二日の午前のことです。母は私の軽自動車に乗って、生まれ故郷である大島区旭地区へ一年二か月ぶりに行ってきた。目的は、幼友達である板山在住のキエさんと会い、母の実家など親戚の家を訪ねることにした。キエさんには事前に伝えましたが、母の実家や従兄の家には事前連絡なしの突然の訪問でした。

この日、大島区へはわが家から吉川区の山間部を通るルートで行きました。名木山の坂を下って石谷に向かう時、母は「ここはクルマ、いっぱいあるなあ」と言いました。そして上川谷から角間へ行く途中では、「ここらへんにサワナあったがねかな」。数年前までクルマ拾いや野菜採りに夢中になっていた母の目には、そういうものがずっと飛び込んでくるのでしょうか。

旭地区に入って最初に訪ねたのはキエさんの家でした。前庭に停めた私の車のドアを開けたキエさんは、「まあ、おばあちゃん、会えると思わなかったじゃ」と言っていて、喜んでくれました。母はすぐに「おまさん、若いねえ。顔の色つやがいい」と言っただけで、キエさんはこの言葉に反応し、「だって、オレは義孝さんと一緒だもん、九二だよ」と言いました。

キエさんは今回、エゴとヨーグルトを用意して待っていてくれました。自力で歩けない母は、車の中ですぐにエゴを食べ始めました。「まあ、うんめーがどー」と何度も言いました。私からも「今年のエゴには芯がねがね」と言っくと、キエさんは、「そいがでね。今年のエゴはエゴを嫌いなしょも食べられるほど美味しいがど。アキ

コさんの親戚筋の人の紹介で、上越の魚屋さんから買うがでも、この人は自分で海に入っ採るが」と言いました。

この日、キエさんから皿に入れてもらったエゴは縦横三・五センチくらいのもので、母は皿の中の三切れのエゴを残らず食べ、汁まで飲もうとしました。それほど美味かったのだしょう。

母はエゴを食べ終わると、今度は「ヨーグルトを食べて」と言われました。「牧場の朝」という名前のヨーグルトですが、これもスプーンで残らず食べました。「ああ、うんめーがどー」という母の言葉にキエさんは笑顔いっぱいでした。

キエさんの家には一五分くらいお世話になったでしょうか。その後、板山の親戚、竹平の親戚と回りました。

最初に会ったのは母の一番上の姉の長男、セイゴさんです。母とは数十年ぶりに再会したとかで、「おまんちに柿もらい行って以来じゃないかな」と言っていました。ここでも母は、「おまさん、若いねえ」と言いました。セイゴさんは「若いねえ」と言いました。もう八二だよ」と言っ、ずっと笑っていました。

その後、母の実家である「のうの」(屋号)、「足谷」(屋号)にも行きました。突然の訪問にかかわらず、どちらの家でも従兄の連れ合いや従兄などと会うことができ、「ばあちゃん、元気だねや」と大歓迎されました。最初、訪ねた時は留守で今回は会えないと諦めていた板山の従弟夫婦とも帰り道、田んぼ仕事をしているところを見かけたので、声をかけました。

訪ねた家のどこでも母は、「おまさん、若いねえ」「いい顔してなるね」「おまさんきれいだね」とほめ、しっかり手を握ってもらいました。この日は、母にとって最良の日となりましたが、いったい、いつからこんなにほめ上手になったのでしょうか。

## サツマイモの茎を食べて



サツマイモの茎を食べたことがありますか。先日、大島区菖蒲地区で走ってなりました。もちろん、ゆでて、いためてあります。

私は、子ども時代にそれこそ毎日のように食べた記憶があります。食料不足のときには大活躍した食べ物です。

## ニュースフラッシュ

### 上越地域各消防署における空間放射線量率測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016~0.16μSv(マイクロシーベルト)だとのこと。

	8月25日(水)	9月1日(水)
上越南消防署	0.050	0.057
上越北消防署	0.043	0.057
新井消防署	0.053	0.057
頸北消防署	0.053	0.057
頸南消防署	0.063	0.060
東頸消防署	0.053	0.047
名立分遣所	0.057	0.057
高士分遣所	0.050	0.057

### 上越市の絶景などの作品がずらり

先日、高田のミュゼ雪小町で開催された上越美術協会展に顔を出してきました。素敵な作品を鑑賞し、気持ちのリフレッシュ出来ました。

会場の受付には、柿崎は直海次の光徳寺の坊守さんと高校の同級生がいて、会場にはMさんやKさんなど知り合いの人も……。楽しいひと時を過ごしました。

作品は全部で56点、同級生の月あかりや蓮を描いた油彩作品や地元の瘦辺幸雄さんの農村風景を描いた油彩作品等に注目しました。会場からは米山、尾神岳も見えました。右の絵は瘦辺さんの作品。

